



総合質管理(TQM)部ニュース

2025年 7月号 (第24号)



今月は、認知症ケア課とスキンケア課です

認知症ケア課

今回のテーマは“脳の老化”について

引用文献：
今と未来がわかる 老化の科学 中西真

脳は神経細胞の減少により萎縮が目立つようになり、脳の表面のしわが深くなります。加齢による 脳の萎縮は 20 才代から始まり、60 才代になると肉眼でも明らかな萎縮がみられるといわれます。

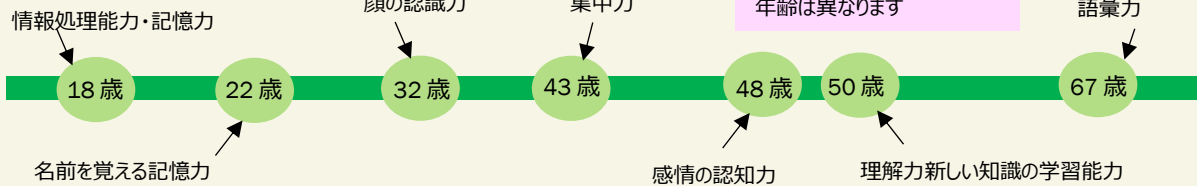
前頭葉	行動を始めたり、反対に抑制したりする働きがある
側頭葉	外部からの情報の認知や記憶、感情などにかかわる機能がある
頭頂葉	空間の認知や触覚をつかさどる
後頭葉	色や形などの視覚情報を認識する



脳の萎縮や機能低下のメカニズムには 諸説あります

- ・アミロイドβやタウというたんぱく質が影響する
- ・加齢に伴う脳の動脈硬化が影響する
- ・脳には 140 億の神経細胞があり一部の神経細胞が失われても機能低下しない
- ・海馬には神経幹細胞があり、新しい神経細胞を補充する機能がある

脳の能力のピーク



文責 老人看護専門看護師 福嶺初美

スキンケア課



今回のテーマは踵の褥瘡

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 横山絵麻

STOP!!! 踵の褥瘡

高齢者は足の血流が悪い方も多いため、踵に褥瘡が発生すると痛みも強く、傷が治るまでに相当な時間がかかり、患者さんのQOLを大幅に低下させてしまいます。さらに、感染を合併すれば、足の切断のリスクや命にかかもあることもあります。

足の構造



踵骨はHard rockといわれる固い岩のような骨であり、踵部周囲の皮膚はクッションとなる皮下脂肪も少なく、摩擦やずれに弱いため褥瘡が発生しやすい場所です。
また、踵部分は、圧迫や摩擦により、皮膚の浅い部分よりも、深い部分に強いストレスが加わるため、早期に介入を行わない場合は、深い褥瘡へ変化します。

観察ポイント

寝ているときにできる踵の褥瘡の特徴

- ・水泡（水ぶくれ）ではじまる
- ・踵部の境目にできる

水泡は圧迫よりもずれが大きい時に発生します



予防のポイント

踵の褥瘡はエアマットを使用しても予防できません
寝たきりで下記に該当する方には踵の褥瘡予防を行きましょう。

- ・踵をベッドに擦りつけるような動作が多い
- ・足の血流が悪い（足先が冷たい）
- ・麻痺などにより感覚がわからない
- ・足がむくんでいる
- ・いつも、がに股の姿勢で寝ている

踵を浮かす除圧用具を使用する



写真右のヒールアップは、薬剤科前の「TQM」に保管しています